組立・施工説明書 エフルージュ EX・エフルージュ ツイン EX

'14-2月 発行 1ページ YKK AP EXTERIOR

このたびは、YKK AP エクステリア商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

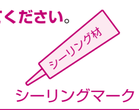
組立・施工の前に…
商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

組立・施工の後で…
取扱説明書・使い方＆お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

説明図中の部品には、＜　＞で同梱先を表示しています。

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

シーリングは必ず実施してください！
●「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください。**
シーリングがされないと、**漏水の原因**となります。
●ポリカーボネート板へのシーリングは、ひび割れ防止のためと樹脂との接着性が良い脱アルコール形のシーリング材をご使用ください。（別途手配品）



チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している
「**チェックマーク**」の確認をしてください。

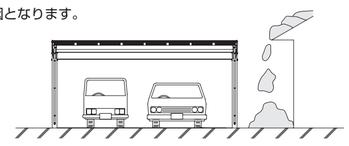
	項　目	チェック欄
❶	基礎寸法	
❷	シーリング	
❸	柱の間隔・垂直・対角	
❹	母屋取付ねじの締付け	
❺	柱の水抜き穴	
❻	屋根ふき材ののみ込み	
❼	屋根ふき材押えの押しあて	
❽	屋根ふき材押え取付ねじの締付け	

注　意

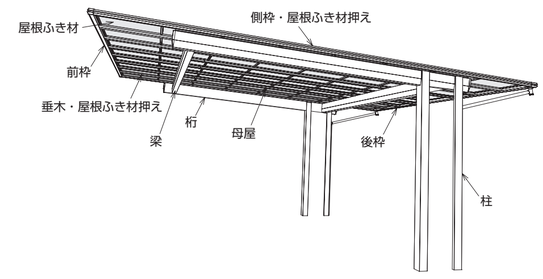
●このカーポートは積雪～ 20cm 地域用 {積載荷重 600N/m²（61.2kgf/m²）} です。
積雪量が 20cm を超える前に雪おろしをすることを施主様に確認してください。商品が破損するおそれがあります。
※雪おろしの目安は、積雪 1cm 当たり 30N/m² で計算しています。
湿った雪の場合等は、1cm 当たりの重さがさらに大きくなる場合がありますので、早めに雪おろしを行ってください。
●カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
柱の埋込み深さが確保されないと、商品に倒壊のおそれがあります。
●屋根ふき材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、４～７日の養生期間が必要です。
●脚立を使用する際は、天板の上に乗ること、またがること、座ることが禁止されています。
脚立は、脚立メーカー発行の取扱説明書を必ずお読みの上、ご使用ください。

お願い

●屋根からの落雪が予想される場所では、カーポートに直接落雪しないようにご配慮ください。（図参照）
●みだりに改造や変更はしないでください。
●基礎コンクリートには**塩素系の混和剤（急結剤等）や海砂を使用しない**でください。柱の腐食の原因となります。
●屋根面に銀色フィルムを貼らないでください。太陽光線の反射により火災のおそれがあります。
●凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、柱に水抜き穴をあけてください。
●組立ては、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や性能低下および事故の原因になります。
●ユニットの組替え等により製作する場合は製作範囲を確認して製作してください。
製作範囲を超えると事故（人損、物損）の原因になります。
●カーポートの上に乗らないでください。カーポートにはしごをかけないでください。
カーポートの破損だけでなく落下事故の原因になります。
●部材を切詰めする際、水密材のかしめ部分を切断する場合は、部材の端部をペンチ等でかしめ直してください。



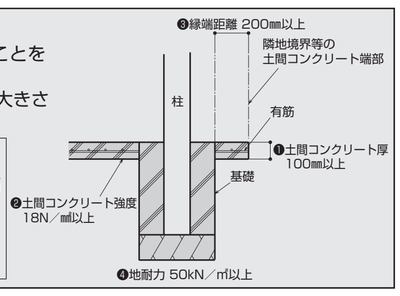
全体構成図



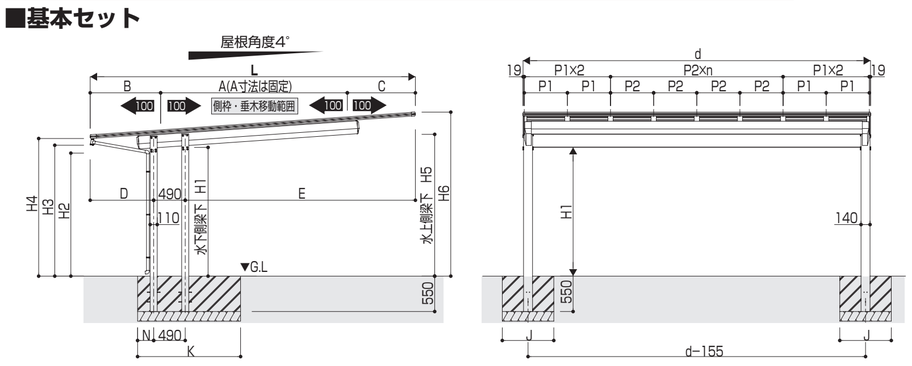
寸法図（単位：mm）

土間コンクリート考慮基礎条件
本基礎の場合は、下記条件を満たしていることを確認してください。
条件を満たしていない場合は、「独立基礎」の大きさにして施工してください。

基礎条件
❶土間コンクリート厚　：100㎜以上、有筋
❷土間コンクリート強度：18N／㎟以上
❸縁端距離　　：200㎜以上
❹地耐力　　：50KN／㎡以上



■基本セット



高さH1	長さ	L	A	B	C	D	E	H2	H3	H4	H5	H6
2000	L51	5052	2900	1094.5	1057.5	986.5	3575.5	1911	2034	2138	2203	2548
	L54	5400	3100	1168.5	1131.5	1060.5	3849.5	1893	2028	2133	2217	2568
	L57	5768	3300	1252.5	1215.5	1144.5	4133.5	1872	2023	2127	2231	2587
2300	L51	5052	2900	1094.5	1057.5	986.5	3575.5	2211	2334	2438	2503	2848
	L54	5400	3100	1168.5	1131.5	1060.5	3849.5	2193	2328	2433	2517	2868
	L57	5768	3300	1252.5	1215.5	1144.5	4133.5	2172	2323	2427	2531	2887

■D24～30（1台用）

d	P	屋根分割
2418	595	4
2718	670	4
3013	595	5

●土間コンクリート考慮基礎の場合
※採用条件については、**土間コンクリート考慮基礎条件**を参照

カーポートサイズ	全サイズ		
	J	K	N
基礎寸法	420	820	165

●独立基礎の場合

L / d	5052			5400			5768		
	J	K	N	J	K	N	J	K	N
2418	700	890	165	700	890	165	730	980	165
2718	700	890	165	730	980	165	750	1180	165
3013	730	980	165	750	1180	165	750	1180	165

■D48～60（2台用）

d	P1	P2	n	屋根分割
4798	595	595	4	8
5098	595	670	4	8
5398	670	670	4	8
5988	595	595	6	10

●土間コンクリート考慮基礎の場合
※採用条件については、**土間コンクリート考慮基礎条件**を参照

L / d	5052			5400			5768		
	J	K	N	J	K	N	J	K	N
4798	480	920	165	480	920	165	480	990	165
5098	480	920	165	480	990	165	550	1090	165
5398	480	920	165	480	990	165	550	1090	165
5988	480	990	165	550	1090	165	550	1090	165

●独立基礎の場合

L / d	5052			5400			5768		
	J	K	N	J	K	N	J	K	N
4798	710	1640	250	710	1640	250	730	1750	250
5098	710	1640	250	730	1750	250	800	1900	250
5398	710	1640	250	730	1750	250	800	1900	250
5988	730	1750	250	800	1900	250	800	1900	250

同梱一覧

■柱ユニット DCA-KA####

	部材	部品		備考
姿図	–			
部材・部品名	柱	たて樋	呼び樋	
品番	–	K-34805	K-34805	
DCA-KA##AR	2	1(L=2300)	1(L=1300)	外観右
DCA-KA##AL	2	–	–	外観左
DCA-KA##BR	2	2(L=2300)	2(L=1300)	外観右
DCA-KA##BL	2	–	–	外観左

■梁ユニット DCA-KB##

部材名	梁
品番	–
DCA-KB24～30	2
DCA-KB48～60	1

■桁ユニット DCA-KH####

部材名	桁	連結材	備考
品番	–	–	
DCA-KH##AR	1	4(L=265)	外観右
DCA-KH##AL	1	4(L=265)	外観左
DCA-KH##BR	1	4(L=265)	外観右
DCA-KH##BL	1	4(L=265)	外観左

■側枠・垂木ユニット DCA-KC##-##,DCD-WC##-##

部材名	側枠	屋根ふき材押え	垂木	屋根ふき材押え
品番	–	–	–	–
DCA-KC5#-##	2	2	4	4
DCD-WC5#-##	2	2	3	3
備考		側枠用		垂木用

■前後枠ユニット DCA-KD##-##,DCD-WD##-##

	部材		部品					
姿図	–	–						
部材・部品名	前枠	後枠	緩衝材	垂木取付金具	セッティングブロック	トラスタッピンねじ（φ5×10）	中トラスタッピンねじ（φ5×20）	穴塞ぎシール（φ14）
品番	–	–	2K-49907	5K-15481	2K-28415	ET-5010	EM-5020D10	K-40433
DCA-KD30-##以外	1	1	–	–	–	–	–	–
DCA-KD30-##	1	1	14	2	2	38	14	4
DCD-WD60-##以外	1	1	–	–	–	–	–	–
DCD-WD60-##	1	1	28	4	4	76	28	8
備考							母屋取付用	柱移動用

■部品ユニット DCA-KG#-##

姿図									
部品名	柱アンカー	垂木取付金具	側枠取付金具	緩衝材	屋根ふき材補強部品	スペーサ	パッキン	後枠キャップ(R)	後枠キャップ(L)
品番	K-11711	5K-15481	5K-15482	2K-49907	5K-15483	2K-22552	2K-49906	2K-37519 [2K-37523]	2K-37520 [2K-37524]
DCA-KGA-##	12	6	4	48	4	4	2	1	1
DCA-KGB-##	12	6	4	56	6	6	2	1	1
DCA-KGC-##	12	14	4	96	4	4	2	1	1
DCA-KGD-##	12	14	4	112	6	6	2	1	1

姿図									
部品名	前枠キャップ(R)	前枠キャップ(L)	ドレイン	穴隠し	雨樋セット	セッティングブロック	柱キャップ	桁キャップ(R)	桁キャップ(L)
品番	2K-37521 [2K-37525]	2K-37522 [2K-37526]	2K-31200	K-36937	EA-E1	2K-28415	2K-38256	2K-38257	2K-38258
DCA-KGA-##	1	1	1	1	1	6	8	2	2
DCA-KGB-##	1	1	1	1	1	6	8	2	2
DCA-KGC-##	1	1	2	–	2	14	8	2	2
DCA-KGD-##	1	1	2	–	2	14	8	2	2

姿図								–
部品名	柱ブラケット	梁ブラケット	座金組込六角ボルト（M8×25）	座金組込六角ボルト（M10×40）	トラスタッピンねじ（φ5×10）	中トラスタッピンねじ（φ5×20）	穴塞ぎシール（φ14）	組立・施工説明書
品番	5K-18142	5K-18147	3K-18992	5K-18152	ET-5010	EM-5020D10	K-40433	–
DCA-KGA-##	4	4	16	80	167	82	16	1
DCA-KGB-##	4	4	16	80	192	90	16	1
DCA-KGC-##	4	4	16	80	299	130	32	1
DCA-KGD-##	4	4	16	80	344	146	32	1
備考			梁取付用	柱ブラケット取付用 梁ブラケット取付用				

■母屋ユニット DCA-KL##,DCD-WL##

部材名	母屋(L=618)	母屋(L=543)
品番	–	–
DCA-KL5124	–	24
DCA-KL5127	24	–
DCA-KL5130	–	30
DCA-KL24	–	28
DCA-KL27	28	–
DCA-KL30	–	35
DCD-WL5148	–	48
DCD-WL5151	24	24
DCD-WL5154	48	–
DCD-WL5160	–	60
DCD-WL48	56	–
DCD-WL51	28	28
DCD-WL54	56	–
DCD-WL60	–	70

■垂木ユニット DCD-WE##-#

部材名	垂木	屋根ふき材押え
品番	–	–
DCD-WE5#-3	3	3
DCD-WE5#-4	4	4

■屋根ふき材ユニット（厚さ:1.8mm）

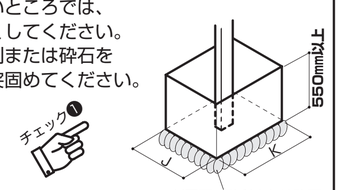
ユニット記号	サイズ 長さ	サイズ 幅	数量
DCD-WF5106-1*#	4999	585	1
DCD-WF5406-1*#	5348		
DCD-WF5706-1*#	5717		
DCD-WF5106-2*#	4999		2
DCD-WF5406-2*#	5348		
DCD-WF5706-2*#	5717		
DCD-WF5107-2*#	4999	660	2
DCD-WF5407-2*#	5348		
DCD-WF5707-2*#	5717		

[　]内は、ラミネートの場合です

組立・施工要領

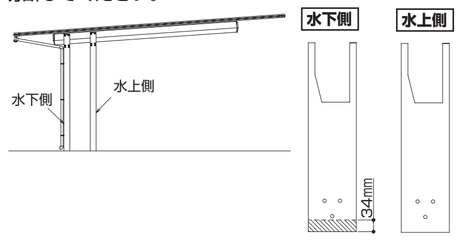
1.基礎の施工　**寸法図**をご覧ください。

お願い
●地盤のゆるいところでは、さらに大きくしてください。
●割栗石、砂利または砕石を敷き均し、突固めてください。



2.柱の加工

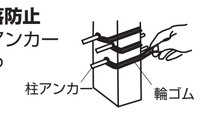
水下側の柱（外観右・左）を埋込み部側から34mm切断してください。



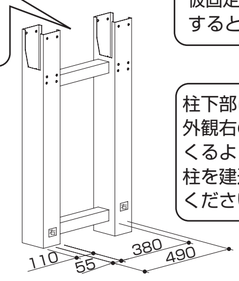
3.建込み・仮固定

キズ防止のため、柱を段ボール等で養生してください。

ポイント
柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーにひっかける

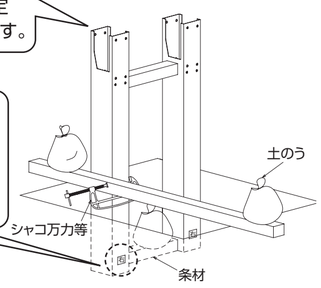


柱ピッチ（490mm）を条材等で仮固定しておくと施工しやすくなります。



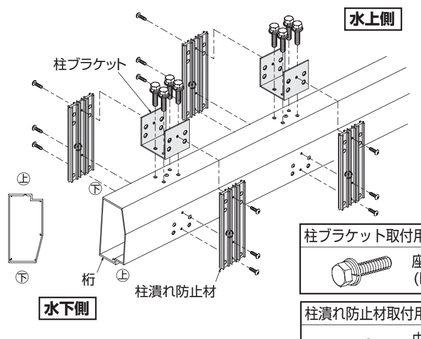
柱の建込みの際、柱の条材を仮固定し、土のう袋で仮固定すると施工しやすくなります。

柱下部にある右のラベルが外観右の内側にくるように柱を建込みしてください。



4.桁と柱の組立

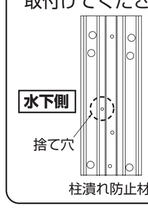
❶桁の上下を逆にし、柱ブラケットと柱潰れ防止材を取付けてください。



柱ブラケット取付用	〈部品ユニット〉
	座金組込六角ボルト（M10×40）

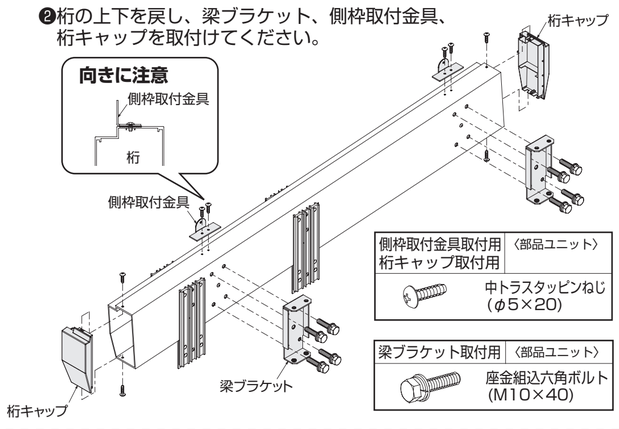
柱潰れ防止材取付用	〈部品ユニット〉
	中トラスタッピンねじ（φ5×20）

ポイント
捨て穴を水下側に向けて取付けてください。



❷桁の上下を戻し、梁ブラケット、側枠取付金具、桁キャップを取付けてください。

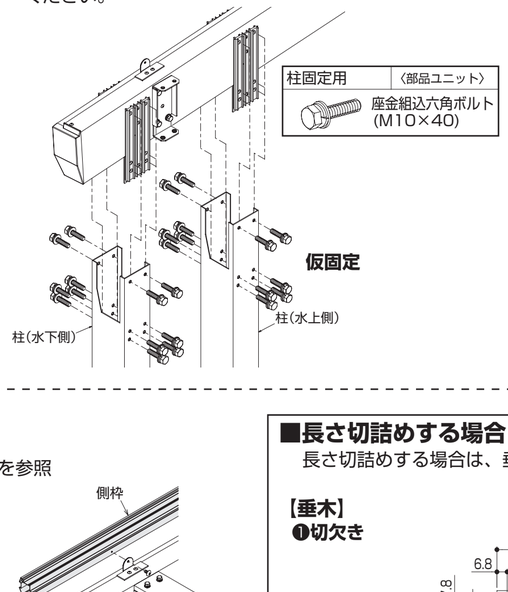
向きに注意



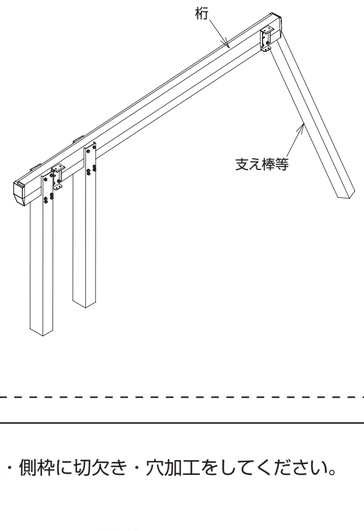
側枠取付金具取付用 桁キャップ取付用	〈部品ユニット〉
	中トラスタッピンねじ（φ5×20）

梁ブラケット取付用	〈部品ユニット〉
	座金組込六角ボルト（M10×40）

❸桁を柱に挿入し、ボルトで**仮固定**してください。

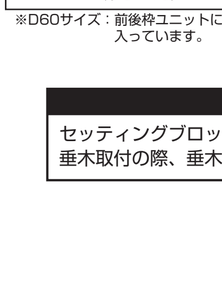


❹桁を支え棒等で支えてください。



5.梁の取付

❶梁に垂木取付金具を取付けてください。



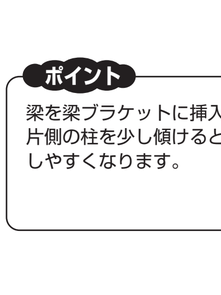
垂木取付金具取付用	※〈部品ユニット〉
	トラスタッピンねじ（φ5×10）

※D60サイズ：前後枠ユニットにも入っています。

❷垂木取付金具の中央にセッティングブロックを取付けてください。

お願い
セッティングブロックを確実に取付けてください。
垂木取付の際、垂木下面傷の原因になります。

❸梁ブラケットに梁を取付けてください。

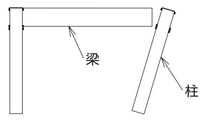


ボルト仮締め

梁取付用	〈部品ユニット〉
	座金組込六角ボルト（M8×25）

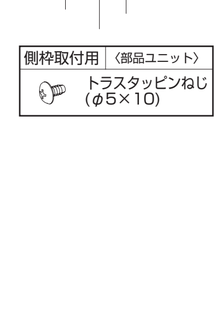
ボルトは屋根組立・寸法確認後、本締めします。

ポイント
梁を梁ブラケットに挿入する際、片側の柱を少し傾けると挿入しやすくなります。



6.側枠の取付

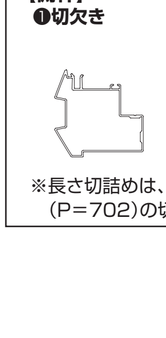
※長さ切詰めする場合は、
「■長さ切詰めする場合」を参照

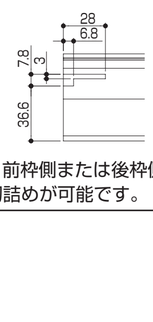


側枠取付用	〈部品ユニット〉
	トラスタッピンねじ（φ5×10）

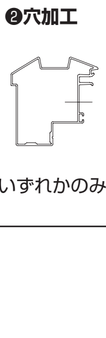
■長さ切詰めする場合
長さ切詰めする場合は、垂木・側枠に切欠き・穴加工をしてください。

【垂木】
❶切欠き





❷穴加工



【側枠】
❶切欠き

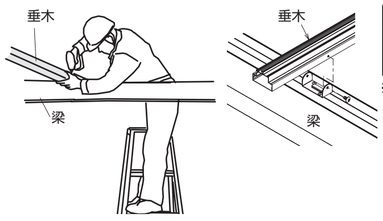
❷穴加工

※長さ切詰めは、前枠側または後枠側のいずれかのみで最大母屋1ピッチ分（P＝702）の切詰めが可能です。

組立・施工説明書 エフルージュ EX・エフルージュ ツイン EX

組立・施工要領

7.垂木の取付

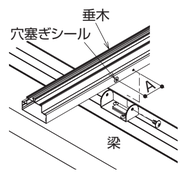


垂木取付用	※〈部品ユニット〉
	トラスタッピンねじ（φ5×10）

※D60サイズ：前後枠ユニットにも入っています。

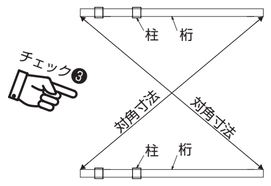
屋根（側枠・垂木）をAmm移動した場合

- 側枠・垂木の側面に梁位置に合わせて穴をあけてください。
- 既存の加工穴には穴塞ぎシール〈部品ユニット〉を貼ってください。



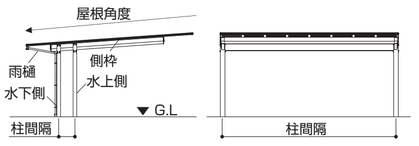
8.寸法確認・調整

❶柱の間隔・垂直・対角
❷垂木・側枠の屋根角度



柱の対角寸法（寸法は調整用の目安）

D ＼ L	51	54	57
24	4049	4219	4392
27	4218	4382	4548
30	4398	4555	4715
48	5695	5817	5943
51	5937	6055	6176
54	6185	6298	6415
60	6685	6790	6898



ポイント
寸法がでていない場合は、部材を動かして調整してください。

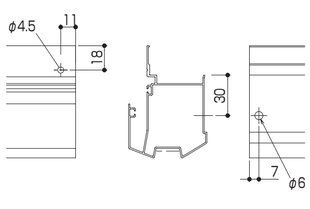
9.前枠・後枠の取付

※間口切詰めする場合は、**「■間口切詰めする場合」**を参照

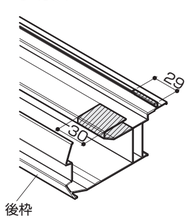
■間口切詰めする場合

間口切詰めする場合は、前枠に穴加工、後枠に切欠き・穴加工をしてください。

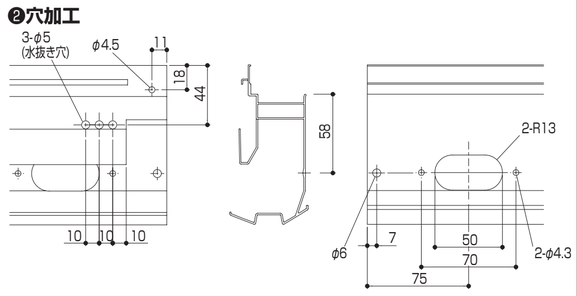
【前枠】
穴加工



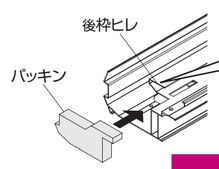
【後枠】
❶切欠き



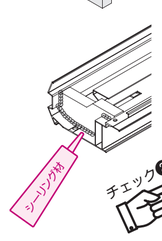
❷穴加工



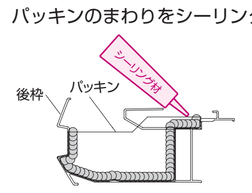
❶後枠にパッキンを取付けてください。



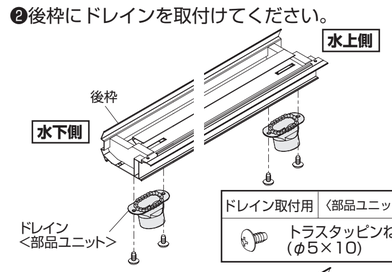
ポイント
後枠ヒレにパッキンを突きあててください。



シーリング
パッキンのまわりをシーリング

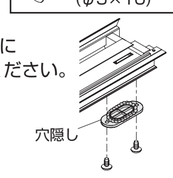


❷後枠にドレインを取付けてください。

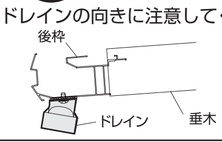


ドレイン取付用	〈部品ユニット〉
	トラスタッピンねじ（φ5×10）

※1台用の場合、片側に穴隠しを取付けてください。



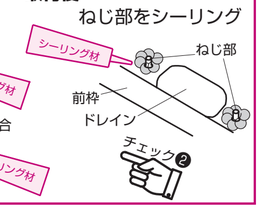
ポイント
ドレインの向きに注意してください。



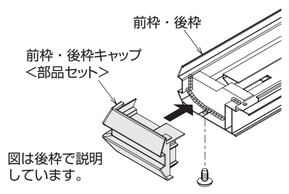
シーリング

取付前

取付後
ねじ部をシーリング



❸前枠・後枠にキャップを取付けてください。

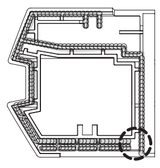


キャップ取付用	〈部品ユニット〉
	トラスタッピンねじ（φ5×10）

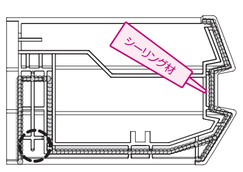
シーリング

シーリング材を充てんし、取付けてください。

〈前枠キャップ〉



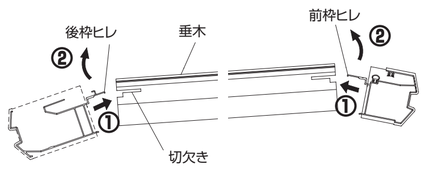
〈後枠キャップ〉



チェック❷

形材内部に浸入した水を排出するため ◯位置はシーリングしないでください。

❹前枠・後枠を取付けてください。



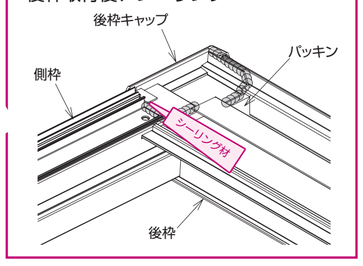
①前枠・後枠のヒレを垂木の切欠きに差込んでください。
②前枠・後枠を持ち上げるようにして、押し込んでください。
③ねじで固定してください。

チェック❷

前枠・後枠取付用	〈前後枠ユニット〉
	トラスタッピンねじ（φ5×10）

シーリング

後枠取付後、シーリング

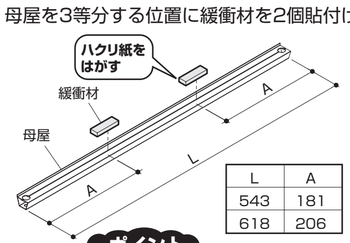


10.母屋の取付

母屋を3等分する位置に緩衝材を2個貼付けてください。

母屋取付用	※〈部品ユニット〉
	中トラスタッピンねじ（φ5×20）

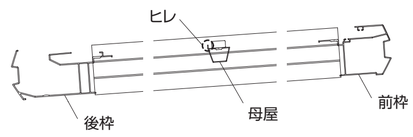
※D60サイズ：前後枠ユニットにも入っています。



L	A
543	181
618	206

ポイント
母屋のケガキ溝に緩衝材の中心を合わせてください。

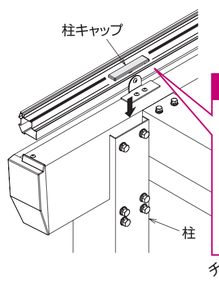
ポイント
母屋のヒレを後枠側に向けてください。



お願い
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。

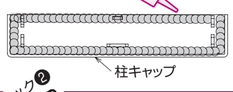
11.柱・梁取付ボルトの本締め

❶再度寸法を確認してください。
❷柱・梁取付ボルトを本締めしてください。
❸柱に柱キャップを取付けてください。

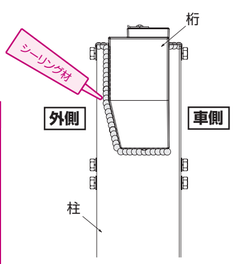


シーリング

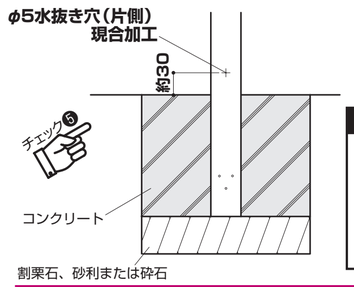
取付前



❹桁と柱の連結部および柱キャップにシーリングを行ってください。



12.基礎コンクリートの打込み



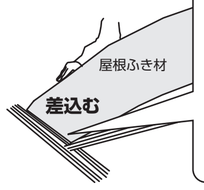
お願い
凍結破損防止のため、基礎部に割栗石、砂利または砕石を敷き、必ず水抜き穴をあけてください。

注　意
屋根ふき材の取付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。
基礎コンクリートは、4～7日の養生期間が必要です。

13.屋根ふき材・屋根ふき材補強部品・屋根ふき材押えの取付

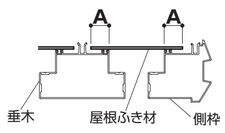
取付前に、屋根ふき材の養生フィルムをはがしてください。

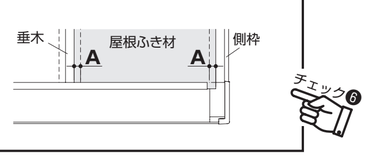
屋根ふき材の取付



ポイント
後枠の奥に**あたるまで**押込んでください。

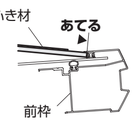
お願い
屋根ふき材ののみ込み**A**が左右同じになるように調整してください。
屋根ふき材の耐荷重性能低下の原因になります。



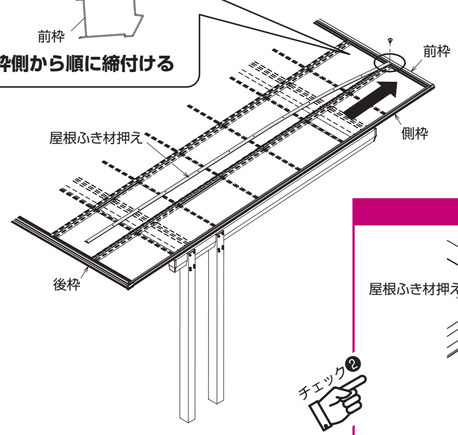


屋根ふき材押えの取付

ポイント
●**前枠に押しあてる**



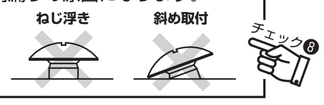
●ねじ止めは、**前枠側から順に締付ける**



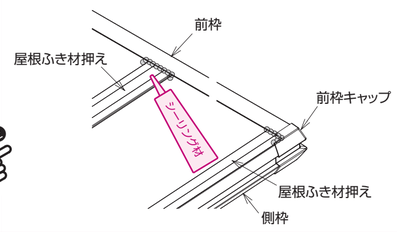
屋根ふき材押え取付用	※〈部品ユニット〉
	トラスタッピンねじ（φ5×10）

※D60サイズ：前後枠ユニットにも入っています。

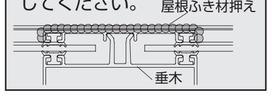
お願い
ねじは確実に締付けてください。
雨漏りの原因になります。



シーリング



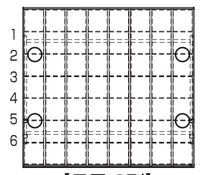
前枠と屋根ふき材押え部は ⌐¬ 字型にシーリングをしてください。



屋根ふき材補強部品の取付

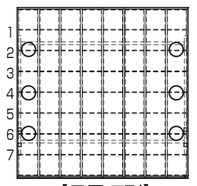
屋根ふき材補強部品の取付けは、屋根ふき材の取付けと同時に行ってください。
屋根ふき材補強部品は、側枠側の1スパンのみに取付けます。
○ 印=屋根ふき材補強部品取付位置

L51サイズ



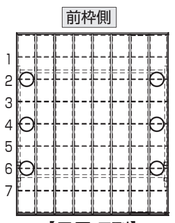
【母屋 6列】

L54サイズ

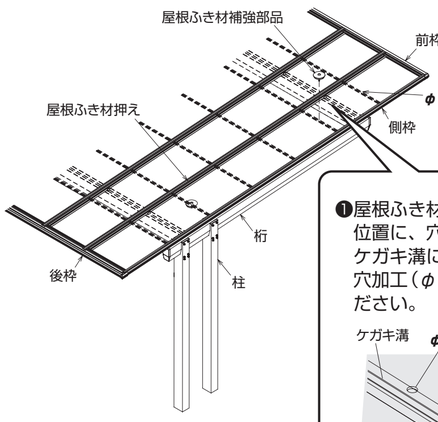


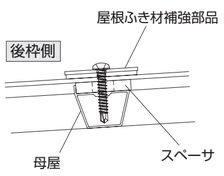
【母屋 7列】

L57サイズ



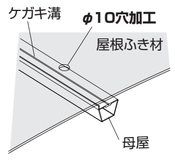
【母屋 7列】



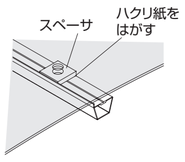


お願い
穴加工後の切削屑は必ず除去してください。

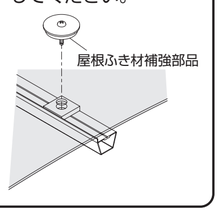
❶屋根ふき材補強部品取付位置に、穴中心が母屋のケガキ溝にあうように、穴加工（φ10）をしてください。



❷スペーサのハクリ紙をはがし、加工穴に合わせて、屋根ふき材と母屋の間に取付けてください。



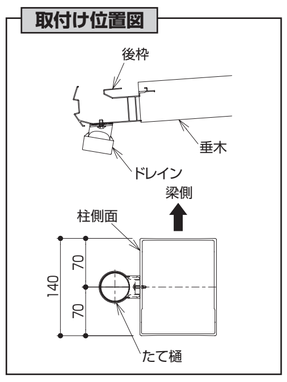
❸屋根ふき材補強部品を取付けてください。
❹❶～❸をくり返してください。



14.雨樋の取付

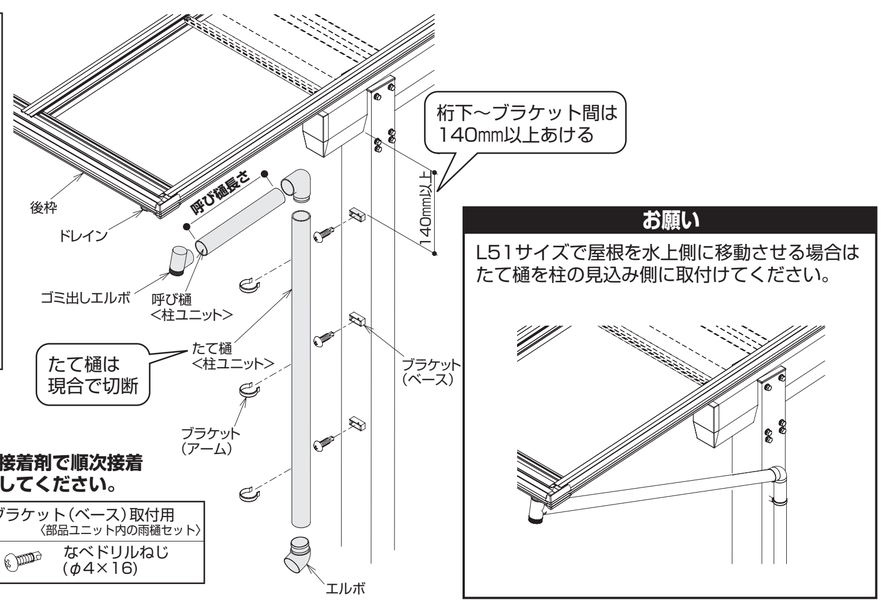
〈たて樋・呼び樋以外の部品（雨樋セット）は、部品ユニットに入っています。〉

取付け位置図



柱標準位置での呼び樋長さ

呼称	切断長さ
L51	831
L54	906
L57	991



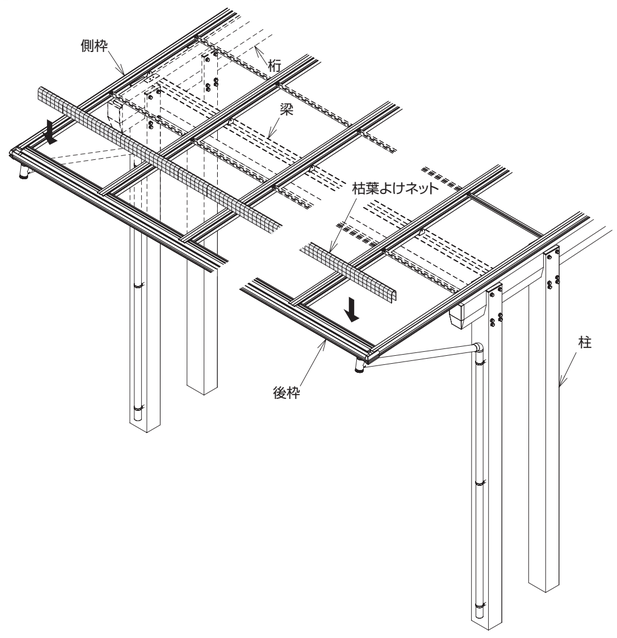
接着剤で順次接着してください。

ブラケット（ベース）取付用 〈部品ユニット内の雨樋セット〉	
	なべドリルねじ（φ4×16）

お願い
L51サイズで屋根を水上側に移動させる場合はたて樋を柱の見込み側に取付けてください。

枯葉よけネットの取付

❶枯葉よけネットを後枠全長に納まる長さに切断してください。



❷Uの字に折り曲げながら、押込んでください。